

第 65 回制度設計専門会合 議事要旨

日時：

令和 3 年 10 月 1 日 10：00～13：25

出席者：

武田座長、岩船委員、圓尾委員、安藤委員、草薙委員、末岡委員、松田委員、松村委員、村上委員、山内委員、山口委員

(オブザーバーについては、委員等名簿をご確認ください)

●2025 年度向けのブラックスタート機能公募結果の検証について

2025 年度向けのブラックスタート機能公募結果の検証について、事務局資料をもとに討議が行われた。その結果、ブラックスタート機能公募の改善については、委員からの意見を踏まえ、事務局案のとおり進めていくこととされた。また、今回の東京エリアのブラックスタート機能公募については、再公募をすべきという意見が多く、仮に再公募を行わない場合は、当該ブラックスタート機能の調達コストについては、レベニューキャップの算定上、認めるべきではないという意見も多かったところ、事務局から東京電力パワーグリッドへ本件に対する対応を早急に検討するように伝えることとされた。

●2020 年度冬季の需給ひっ迫を踏まえた調整力の調達・運用の改善等について

2020 年度冬季の需給ひっ迫を踏まえた調整力の調達・運用の改善等について、事務局資料をもとに討議が行われた。その結果、委員からの意見を踏まえ、事務局案のとおり進めることとされた。また、検討事項 1.「需給ひっ迫時等緊急時の情報共有について」は、電力・ガス取引監視等委員会に報告し、ガイドラインの改正に向けた手続きを進めていくこととされた。

●2022 年度からの新たなインバランス料金制度の今後の検証等について

2022 年度からの新たなインバランス料金制度の今後の検証等について、事務局資料をもとに討議が行われた。その結果、新インバランス料金制度の検証については、委員からの意見を踏まえ、検討を進めていくこととされた。また、新インバランス料金制度における卸電力市場価格補正の廃止については、2020 年 4 月に公表した新インバランス料金制度の中間取りまとめにも反映することとされた。

●発電側課金の詳細設計について

発電側課金の詳細設計について、事務局資料をもとに討議が行われた。その結果、委員からの意見を踏まえ、事務局案のとおり進めることとされた。

●約款上の送電ロス率の扱いについて

約款上の送電ロス率の扱いについて、事務局資料をもとに討議が行われた。その結果、委員からの意見を踏まえ、事務局案のとおり進めることとされた。

●東京エリアにおけるグロス・ビディングの取扱いについて

東京エリアにおけるグロス・ビディングの取扱いについて、関係事業者提出資料及び事務局資料をもとに討議が行われた。その結果、委員からの意見を踏まえ、事務局案のとおり進めることとされた。

●時間前市場等のあり方について

時間前市場等のあり方について、事務局資料をもとに討議が行われた。その結果、委員からの意見を踏まえ、事務局案のとおり進めることとされた。

●自主的取組・競争状態のモニタリング報告（令和3年4月～6月期）

自主的取組・競争状態のモニタリング（令和3年4月～6月期）について、事務局から報告があった。